

第82回東京箱根間往復大学駅伝競走

62回目の出場 応援旗のもとに結集しよう。

目前に迫った第82回箱根駅伝(東京箱根間往復大学駅伝競走)のチームエントリー16人が12月9日発表された。区間エントリー(14人)発表は12月29日。

専大陸上競技部は10月22日の予選会で2年連続62回目の出場権を勝ち取り、本大会に向けて最終調整に入っている。

前大会の雪辱を果たす時が来た。白地にグリーン”S”が再び、全10区間217.9キロにおよぶ新春の箱根路に挑む。



通過予定時刻(参考)

区間	1-3区			4-6区			7-9区			
主な通過地点	読売新聞社前	日本橋中央	品川駅	六郷橋出口	鶴見中継所	高島町交差点	横浜横須賀道路ガード	戸塚中継点	東俣野橋歩道橋	柳島歩道橋
日没	8:00	—	8:21	8:52	9:03	9:30	9:44	10:11	10:23	11:02
復路	13:32	13:29	13:04	12:30	12:20	11:53	11:38	11:11	10:59	10:18

区間	4-7区		8-9区	
主な	平塚	山王橋	小田原	恵明学園

通過 地点	中継所	押切橋	交差点	中継点	湯本駅	バス停	芦ノ湖
往路	11:17	11:46	12:09	12:14	12:31	13:06	13:35
復路	10:03	9:34	9:12	8:59	8:51	8:22	8:00

第82回箱根駅伝出場校

専修大学
駒澤大学
日本体育大学
日本大学
中央大学
順天堂大学
東海大学

亜細亜大学
法政大学
中央学院大学
神奈川大学
東洋大学
早稲田大学
國學院大学

山梨学院大学
大東文化大学
城西大学
国士館大学
明治大学
関東大学連選抜

第82回東京箱根間往復大学駅伝競走

エントリー予定選手紹介



<主将>

辰巳 陽亮 (商4・洛南高)

この1年間、箱根本大会で勝負できるチーム作りに取り組んできました。チームのモチベーションも上がってきています。シード権を何としても取る!



永尾 嘉崇 (法4・藤沢翔稜高)

調子いいです。“進化”しています。泣いても笑っても最後の年。悔いを残さぬよう、全力を尽くし攻めの走りをしたい。魅せます。



伊深 智広 (経営4・磐城高)

順調に練習できています。最後の大会なので、悔いのないように走って区間上位を目指します。



彦久保 文章 (商4・藤沢翔稜高)

夢・箱根路・彦久保!! 最後に何かを伝えるために一生懸命走ります。皆さん、専大の応援をよろしくお願いします。



山崎 俊介 (商4・東農大二高)

箱根のことを一番に考えてやってきました。自分にとって最後の箱根になるので、シード権を取って終わりたいです。



高橋 良輔 (経済3・藤沢翔稜高)

シード権、本気で狙います。そのために自分の走りが重要なのは、分かっています。俺が走らなきゃ誰が走るんだい? TVにたくさん映りませう。



長谷川 淳 (経済3・専大松戸高)

前回も出場。それ以上の結果を出さなければという気持ちが強いです。与えられた区間を精いっぱい走り、燃え尽きたいと思います。



平澤 幸太 (経済3・市立柏高)

しっかり走って、調子は上がってきています。もう一度箱根を走って活躍をしたい。箱根駅伝には神様がいます。神様に会ってきます。



中島 裕也 (経営3・諫早高)

絶対に出場するという気持ちでやってきた。エイ! エイ! オー!!



湯野 隆太郎 (経営3・沼田高)

箱根駅伝出場は自分の夢で、目標でした。専修大学の代表として全力で走り、楽しんできました。

相内 隆之 (商3・浦和実業高)

昨年はエントリーはされたが、

山本 和也 (商3・藤代高)

昨年、メンバーに入っていたの



付き添いだったので、今年こそ走りたい。そしてシード権を勝ち取りたい！



に走れず、悔しい思いをしたので、箱根に対する気持ちは大きい。頑張るって走る！！



佐藤 彰浩 (文3・田村高)

今年はチーム全体で「シード権獲得」を目標に掲げ、練習してきました。頑張ります！！



座間 マボロベネディック (商2・藤沢翔稜高)

日々、小さな積み重ねを大切にしてきました。皆の期待…裏切らない！！S大と「座間ベネ」はあなた達と共に…☆



水野 大輔 (商2・堀越高)

シード権をとるためにこの一年、走ってきました。本番では、自分たちの力を出し切れるように走ります。



小柳 秀文 (経営1・長崎南山高)

調子も上がってきている。シード権獲得に向けて、「完全燃焼！！」

第82回東京箱根間往復大学駅伝競走

応援メッセージ

阿部幸夫・川崎市長

「第82回東京箱根間往復大学駅伝競走」への出場おめでとうございます。

輝かしい伝統のある貴校陸上競技部の2年連続62回目の本大会出場は、131万川崎市民の大きな喜びです。1区と10区では川崎市内を駆け抜けますが、市民の熱い応援が選手の走りを後押ししてくれるでしょう。

選手の皆さんには、1年間の精進の成果をこの大会で余すところなく発揮され、正月の箱根路を快走されることを期待しております。

青木一・多摩区長

「第82回東京箱根間往復大学駅伝競走」の本大会出場おめでとうございます。2年連続62回目の出場となりますが、選手の皆さまには、チーム一丸となってご健闘されることを期待しております。

今回も昨年と同様、地元多摩区から明治大学とともに2大学が揃って出場となり、区民の期待は高まっております。大会当日までわずかな期間しかありませんが、万全の体調で競走に臨み、伝統のタスキを胸に箱根路を駆け抜けられることをお祈りいたします。

陸上競技部応援10年

親身に選手の食事づくり — 「永花」石原昇さん



メッセージが掲げられた店頭で石原さん

撮りためた写真 貴重な成長記録

創業50年以上と古くから地元となじみの深い大衆割烹「永花(えいか)」。店内に入ると、壁一面に飾られている選手達の写真が目に入る。写真は店長の石原昇さんが4年前から撮り始め、その数は数千枚にも及ぶ。それらは「二度と戻らない成長の記録」として、選手の卒業後にご家族に送るといふ。

今年で専大陸上競技部を応援し始めてちょうど10年目。きっかけは当時、寮に食堂がなかった選手が、よく夕飯を食べにきてくれたことだった。昨年、第二体育寮が新築され、現在は主に寮に入っていない選手の食事の世話をしているが、土、日や記録会など遠征に行く日の昼食も賄うという。食事は選手に必要な栄養をしっかりとれるよう配慮され、ボリュームも満点。店内はアットホームな雰囲気、選手はまるで家庭にいるよう。卒業したOBも子供を連れてよく訪れるそうだ。

「応援できることが幸せ」と顔をほころばせる。記録会、関東インカレなどの応援に足を運ぶのはもちろん、前回の箱根は、8区間を回り選手に熱い声援を送った。「体を大事にして、監督の言うことをしっかり聞いてほしい」と選手に応援メッセージを送り、また、「ぜひ、専大の学生にも大勢、沿道に出て応援してもらいたい」と語る。

オール専修の総力を挙げて、選手の背中を後押ししよう。

(宮山 友希・文2)

第82回東京箱根間往復大学駅伝競走

追い込み急ピッチ

日産スタジアムでの夜間練習



タイムをにらみ、表情に厳しさを増す加藤監督



生田4号館の「祝出場」の流旗